

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校 日産愛知自動車大学校
設置者名	学校法人 日産学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	自動車整備科	夜・通信	1606.4	160	
	一級自動車工学科	夜・通信	3662.4	320	
	自動車整備・カーボディマスター科	夜・通信	2641.6	240	
	自動車整備・マスターメカニック科	夜・通信	2508.8	240	
	自動車整備・トータルマスター科	夜・通信	3544.0	240	
	カーボディマスター科	夜・通信	1035.2	80	
	マスターメカニック科	夜・通信	902.4	80	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公開 https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2020/06/jitsumukeiken.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校 日産愛知自動車大学校	
設置者名	学校法人 日産学園	

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2020/06/rijimeibo.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社役員	R1. 9. 30～ R3. 9. 29	組織運営の統括
非常勤	株式会社従業員	R1. 9. 30～ R3. 9. 29	組織運営体制への チェック機能
非常勤	専門学校法人 [他法人] 理事長	R1. 9. 30～ R3. 9. 29	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校日産愛知自動車大学校
設置者名	学校法人日産学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画作成ガイドライン (https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2020/06/gaidorain.pdf) に基づき、専門科目全てのシラバスを作成し、年度初め迄に学校ホームページ及び学生端末※2に掲載し、学生及び外部に公開している。</p> <p>※2 学生所有のスマートフォン等のアプリ「Handbook」</p>	
授業計画書の公表方法	ホームページにて公開 https://www.nissan-gakuen.ac.jp/school/aichi/syllabus.html
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>規定出席率を充足したうえで、試験(筆記・実習)に合格することで履修を認定する。成績については、試験の点数により優・良・可の3段階で判定する。</p> <p><u>学習評価について</u></p> <p>学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められません。 可否の判定は下記「判定基準」により行います。</p> <p>〈期末試験〉 教科の学習効果を判断するために、教科毎に行われます。 実習については授業内容の進捗により、教科の途中で試験の一部を実施することがあります。</p> <p>〈判定基準〉</p> <p>1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。</p> <p>2) 学科、実習共に成績得点が60点(一級自動車工学科:70点)以上を合格とします。 ※2年次の国家2級資格取得のための特定の教科、工学科4年次の国家1級資格取得のための特定の教科においては、80点以上を合格とします。</p> <p>3) 成績得点を基に評定(優・良・可)、成績順位が決められます。 ※優:80点以上 良:60点以上(一級自動車工学科:70点以上) 可:60点未満(一級自動車工学科:70点未満) ※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められます。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価は半期毎に、専門科目の期末試験の得点結果を合計し、その平均点で成績順位を算出する。

成績の公表は、半期毎に発行する成績通知書にて通知する。また、成績分布一覧を作成し、各個人の成績位置が分かるようにする。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

ホームページにて公開

<https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2020/06/risyuuannai.pdf>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業認定方針に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している。〈ディプロマポリシー〉

<自動車整備科>

1 種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に文部科学大臣告示による専門士(工業専門課程)を授与する

(1) 資格

① 国家二級自動車整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、整備士として基本的な自動車整備作業ができる

(2) 技術

① 日産3級整備士資格を取得できる知識と技術を有している

② 日産資格制度の日産3級技術能力要件項目に沿った内容の作業ができ、CSマインドを身に付け、一連のお客様対応スキルを身に付けている

(3) 人間力

① 自主性を基に学ぶ意欲、向上心を持ち、自ら課題に対し積極的に取り組む姿勢を身に付けている

② チームの一員として共同作業のベースとなるコミュニケーション力を有している

③ 社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる

<一級自動車工学科>

1 種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に文部科学大臣告示による高度専門士(工業専門課程)を授与する

(1) 資格

① 国家一級自動車整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、自動車エンジニアとして高度で総合的な知見を有している

(2) 技術

① 日産2級整備士資格の学科試験に合格できる知識を有している

② 日産資格制度の日産2級技術能力要件項目に沿った内容の作業ができ、CSマインドを身に付け、一連のお客様対応スキルにより、お客様満足を優先する対応ができる

③ 企業経営に関する知識を身に付け、業務効率の重要性を理解している

(3) 人間力

① 主体性を基に自ら学ぶ意欲及び探究心を持って学習し、自ら目標を掲げて行動できる

② 組織の中で自分の役割を理解し、主体的に課題を解決する行動力を身に付けている

- ③ 相手の気持ちや考えを理解するコミュニケーション力を持ち、チーム全体をリードしていく意思を有している
- ④ 積極的に社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる

<自動車整備・カーボディマスター科>

1 種養成施設として国土交通省により定められた学科・実習の全教科を履修し、以下に記す知識と能力を培った者に卒業証書を授与する

(1) 資格

- ① 国家車体整備士資格を取得できる知識と実践力を身に付け、車体整備士として基本的な自動車板金塗装作業ができる

(2) 技術

- ① 日産3級車体士、塗装士資格を取得できる知識と技術を有している
- ② 日産資格制度の1級、2級の知識を備え、尚且つ、日産3級技術能力要件項目に沿った内容の作業ができる

(3) 人間力

- ① 主体性を基に学ぶ意欲、向上心を持ち、自ら課題に対し積極的に行動できる
- ② チームの一員として共同作業のベースとなるコミュニケーション力と協調と協力の意思を有している
- ③ 社会・地域に貢献し、法令・倫理の規範を遵守することができる

<自動車整備・マスターメカニック科>

本校で定めた科目を履修していること

(1) 資格

- ① 実践的な整備作業（自動車、オートバイ、カート等）ができ、各種ライセンス（カート、B級ライセンス、タイヤ充填士）を取得できる技術を身につける

(2) 技術

- ① 重整備におよぶ自動車整備作業技術を有している
- ② 高度な自動車の運転技能を有している
- ③ オートバイ整備技術、レース車両作成の技術を有している
- ④ 車、バイクに関わる卒業制作品を完成させている

(3) 人間力

- ① 目標を共有するチームにおいて、そのチームワークを発揮できるコミュニケーション能力を有している
- ② 車の楽しさ（整備、運転）を知るエンジニアとなっている

卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>ホームページにて公開</p> <p>https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2020/06/policy.pdf</p>
------------------	--

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校 日産愛知自動車大学校
設置者名	学校法人 日産学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページにて公開 https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2020/06/tai-syakutaisyouhyou.pdf
収支計算書又は損益計算書	ホームページにて公開 https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2020/06/jig-youkatudousyuusikeisansyo.pdf
財産目録	ホームページにて公開 https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2020/06/za-isanmokuroku.pdf
事業報告書	ホームページにて公開 https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2020/06/jig-youhoukokusyo.pdf
監事による監査報告(書)	ホームページにて公開 https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2020/06/ka-nsahoukokusyo.pdf

2. 教育活動に係る情報

① -1 学科等の情報（自動車整備科）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	自動車整備科	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,974.4 単位時間	707.2 単位時間		1,267.2 単位時間		
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
200人		182人	111人	13人	11人	24人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) 学年の基準修業週は45週とし1週間の修業時限は原則として20時限とする。1時限は80分とし、1教育単位時間50分とする 1年次：910時間 2年次：890時間 の専門教育を行う。

<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要) 学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められません。 可否の判定は下記「判定基準」により行います。</p> <p>〈判定基準〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。 2) 学科、実習共に成績得点が60点以上を合格とします。 ※国家2級資格取得のための特定の教科においては、80点以上を合格とします。 3) 成績得点を基に評定(優・良・可)、成績順位が決められます。 ※優:80点以上、良:60点以上、可:60点未満 ※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められます。
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要) 卒業認定方針に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要) クラス担任制をとり、学生の相談を受け、アドバイス等の対応を行う状況により個人面談や保護者面談を行う</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
88人 (100%)	22人 (25.0%)	65人 (73.9%)	1人 (1.1%)
(主な就職、業界等) 日産販売会社、メーカー系販売会社、自動車関連サプライヤ			
(就職指導内容) オリジナルテキストを用いたキャリア形成教育、外部講師によるキャリア育成教育、就職先採用担当者による就職ガイダンスなど。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 2級ガソリン自動車整備士、2級ジーゼル自動車整備士			
(備考)(任意記載事項) 2019年度70名へ定員変更、2020年度100名へ定員変更			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
171 人	9 人	5.3%
(中途退学の主な理由) 学力不振、経済的理由、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による定期的な個人面談、専門カウンセラーによるカウンセリングの実施、等		

①-2 学科等の情報（自動車整備・カーボディマスター科）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	自動車整備・カーボディマスター科	—	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,969.6 単位時間	979.2 単位時間		1,990.4 単位時間		
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
75人		18人	1人	2人(3年次)	0人(3年次)	2人(3年次)	
※1・2年次の教員数は自動車整備科に準ずる。							

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>学年の基準修業週は45週とし1週間の修業時限は原則として20時限とする。1時限は80分とし、1教育単位時間50分とする</p> <p>1年次：910時間 2年次：890時間 3年次：994時間 の専門教育を行う。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められません。</p> <p>可否の判定は下記「判定基準」により行います。</p> <p>〈判定基準〉</p> <p>1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。</p> <p>2) 学科、実習共に成績得点が60点以上を合格とします。</p> <p>3) 成績得点を基に評定（優・良・可）、成績順位が決められます。</p> <p>※優：80点以上、良：60点以上、可：60点未満</p> <p>※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められます。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業認定方針に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>クラス担任制をとり、学生の相談を受け、アドバイス等の対応を行う状況により個人面談や保護者面談を行う</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 自動車販売会社			
（就職指導内容） オリジナルテキストを用いたキャリア形成教育、外部講師によるキャリア育成教育、就職先採用担当者による就職ガイダンスなど。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 2級ガソリン自動車整備士、2級ジーゼル自動車整備士、車体自動車整備士			
（備考）（任意記載事項） 2019年度開設のため就職実績なし。2019年度定員35名。 2020年度定員25名へ定員変更			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9人	1人	11.1%
（中途退学の主な理由） 学力不振、経済的理由、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担任による定期的な個人面談、専門カウンセラーによるカウンセリングの実施、等		

①-3 学科等の情報（自動車整備・マスターメカニック科）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	自動車整備・マスターメカニック科	—	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,870.4 単位時間	924.8 単位時間		1,945.6 単位時間		
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
45人		18人	0人	1人(3年次)	2人(3年次)	3人(3年次)	
※1・2年次の教員数は自動車整備科に準ずる。							

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>学年の基準修業週は45週とし1週間の修業時限は原則として20時限とする。1時限は80分とし、1教育単位時間50分とする</p> <p>1年次：910時間 2年次：890時間 3年次：810時間 の専門教育を行う。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められません。</p> <p>可否の判定は下記「判定基準」により行います。</p> <p>〈判定基準〉</p> <p>1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。</p> <p>2) 学科、実習共に成績得点が60点以上を合格とします。</p> <p>3) 成績得点を基に評定（優・良・可）、成績順位が決められます。</p> <p>※優：80点以上、良：60点以上、可：60点未満</p> <p>※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められます。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業認定方針に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>クラス担任制をとり、学生の相談を受け、アドバイス等の対応を行う状況により個人面談や保護者面談を行う</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 （ %）	0人 （ %）	0人 （ %）	0人 （ %）
（主な就職、業界等） 自動車販売会社			
（就職指導内容） オリジナルテキストを用いたキャリア形成教育、外部講師によるキャリア育成教育、就職先採用担当者による就職ガイダンスなど。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 2級ガソリン自動車整備士、2級ジーゼル自動車整備士、国内B級ライセンス			
（備考）（任意記載事項） 2019年度開設のため就職実績なし。2019年度定員15名。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15人	1人	6.7%
（中途退学の主な理由） 学力不振、経済的理由、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担任による定期的な個人面談、専門カウンセラーによるカウンセリングの実施、等		

①-4 学科等の情報（自動車整備・トータルマスター科）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	自動車整備・トータル マスター科	—	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3,865.6 単位時間	1,196.8 単位時間		2,668.8 単位時間		
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		9人	0人	※1・2年次は自動車整備科、 3年次は自動車整備・カーボディマスター科、 4年次は自動車整備・マスターメカニク科 の教員数に準ずる。			

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>学年の基準修業週は45週とし1週間の修業時限は原則として20時限とする。1時限は80分とし、1教育単位時間50分とする</p> <p>1年次：910時間 2年次：890時間 3年次：994時間 4年次：810時間 の専門教育を行う。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）</p> <p>学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められません。 可否の判定は下記「判定基準」により行います。</p> <p>〈判定基準〉</p> <p>1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。 2) 学科、実習共に成績得点が60点以上を合格とします。 3) 成績得点を基に評定（優・良・可）、成績順位が決められます。 ※優：80点以上、良：60点以上、可：60点未満 ※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められます。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）</p> <p>卒業認定方針に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している。</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要）</p> <p>クラス担任制をとり、学生の相談を受け、アドバイス等の対応を行う 状況により個人面談や保護者面談を行う</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 （ %）	0人 （ %）	0人 （ %）	0人 （ %）
（主な就職、業界等） 自動車販売会社			
（就職指導内容） オリジナルテキストを用いたキャリア形成教育、外部講師によるキャリア育成教育、就職先採用担当者による就職ガイダンスなど。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 2級ガソリン自動車整備士、2級ジーゼル自動車整備士、車体自動車整備士、国内B級ライセンス			
（備考）（任意記載事項） 2019年度開設のため就職実績なし。2019年度定員5名。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6人	0人	0%
（中途退学の主な理由） 学力不振、経済的理由、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担任による定期的な個人面談、専門カウンセラーによるカウンセリングの実施、等		

① -5 学科等の情報（一級自動車工学科）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	1級自動車工学科	-	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3,936 単位時間	1,235.2 単位時間		2,700.8 単位時間		
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
140人		107人	0人	4人	8人	12人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>学年の基準修業週は45週とし1週間の修業時限は原則として20時限とする。1時限は80分とし、1教育単位時間50分とする</p> <p>1年次：870時間 2年次：930時間 3・4年次：1800時間 の専門教育を行う。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）</p> <p>学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められません。</p> <p>合否の判定は下記「判定基準」により行います。</p> <p>（判定基準）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。 2) 学科、実習共に成績得点が70点以上を合格とします。 ※国家2級資格取得のための特定の教科においては、80点以上を合格とします。 3) 成績得点を基に評定（優・良・可）、成績順位が決められます。 ※優：80点以上、良：70点以上、可：70点未満 ※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められます。
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）</p> <p>卒業認定方針に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している。</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要）</p> <p>クラス担任制をとり、学生の相談を受け、アドバイス等の対応を行う状況により個人面談や保護者面談を行う</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
21人 (100%)	0人 (0%)	21人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 日産販売会社、メーカー系販売会社、自動車関連サプライヤ			
(就職指導内容) 外部講師による就職授業			
(主な学修成果（資格・検定等）) 2級ガソリン自動車整備士、2級ジーゼル自動車整備士、1級小型自動車整備士			
(備考)（任意記載事項） 2016～2018年度定員50名、2019年度35名へ定員変更。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
109人	6人	5.5%
(中途退学の主な理由) 学力不振、経済的理由、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による定期的な個人面談、専門カウンセラーによるカウンセリングの実施、等		

①-6 学科等の情報（カーボディマスター科）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	カーボディマスター科	-	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	995.2 単位時間	272 時間	時間	723.2 時間	時間	時間
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		20人	0人	2人	0人	2人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 学年の基準修業週は 45 週とし 1 週間の修業時限は原則として 20 時限とする。1 時限は 80 分とし、1 教育単位時間 50 分とする 994 時間 の専門教育を行う。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要） 学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められません。 可否の判定は下記「判定基準」により行います。</p> <p>〈判定基準〉 1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。 2) 学科、実習共に成績得点が 60 点以上を合格とします。 3) 成績得点を基に評定（優・良・可）、成績順位が決められます。 ※優：80 点以上、良：60 点以上、可：60 点未満 ※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められます。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要） 卒業認定方針に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している。</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要） クラス担任制をとり、学生の相談を受け、アドバイス等の対応を行う 状況により個人面談や保護者面談を行う</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
34人 (100%)	0人 (0%)	33人 (97.0%)	1人 (2.9%)
(主な就職、業界等) 自動車販売会社、その他自動車関連企業			
(就職指導内容) オリジナルテキストを用いたキャリア形成教育、外部講師によるキャリア育成教育、就職先採用担当者による就職ガイダンスなど。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 車体自動車整備士			
(備考) (任意記載事項) 応募資格：国家二級自動車整備士資格を有する方。（資格取得見込みの方を含む） 2020年度廃止、2020年度募集停止。 高等教育修学支援制度対象外。 ※事情により就職を望まない学生1名			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
34人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 学力不振、経済的理由、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による定期的な個人面談、専門カウンセラーによるカウンセリングの実施、等		

①-7 学科等の情報（マスターメカニク科）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	マスターメカニク科	-	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	896 単位時間	217.6 時間	時間	678.4 時間	時間	時間
			単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
25人		3人	0人	1人	2人	3人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 学年の基準修業週は 45 週とし 1 週間の修業時限は原則として 20 時限とする。1 時限は 80 分とし、1 教育単位時間 50 分とする 810 時間 の専門教育を行う。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要） 学習評価は教科ごとに下記試験を行い、合格しなければその教科を履修したと認められません。 可否の判定は下記「判定基準」により行います。</p> <p>〈判定基準〉 1) 学科、実習共に期末試験得点を成績得点とします。 2) 学科、実習共に成績得点が 60 点以上を合格とします。 3) 成績得点を基に評定（優・良・可）、成績順位が決められます。 ※優：80 点以上、良：60 点以上、可：60 点未満 ※評定及び成績順位は、期末試験に合格し、教科規定の出席率を満たした場合に決められます。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要） 卒業認定方針に基づき、全専門科目の履修を確認した上で、授業態度、出欠状況等を鑑み、卒業を認定している。</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要） クラス担任制をとり、学生の相談を受け、アドバイス等の対応を行う 状況により個人面談や保護者面談を行う</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
6人 (100%)	0人 (0%)	6人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 自動車販売会社、自動車関連サプライヤ			
(就職指導内容) オリジナルテキストを用いたキャリア形成教育、外部講師によるキャリア育成教育、就職先採用担当者による就職ガイダンスなど。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 国内B級ライセンス			
(備考)（任意記載事項） 応募資格：国家二級自動車整備士資格を有する方。（資格取得見込みの方を含む） 2021年度廃止、2021年度募集停止。 高等教育修学支援制度対象外。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 学力不振、経済的理由、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による定期的な個人面談、専門カウンセラーによるカウンセリングの実施、等		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等 (2020年4月)

学科名	学年	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
自動車整備科	1年次	240,000円	642,000円	360,000円	施設設備整備費、実験実習費
	2年次	-	642,000円	360,000円	施設設備整備費、実験実習費
自動車整備・ カーボディマスター科	1年次	240,000円	642,000円	360,000円	施設設備整備費、実験実習費
	2年次	-	642,000円	360,000円	施設設備整備費、実験実習費
	3年次	-	642,000円	400,000円	施設設備整備費、実験実習費
自動車整備・ マスターメカニック科	1年次	240,000円	642,000円	360,000円	施設設備整備費、実験実習費
	2年次	-	642,000円	360,000円	施設設備整備費、実験実習費
	3年次	-	642,000円	450,000円	施設設備整備費、実験実習費
自動車整備・ トータルマスター科	1年次	240,000円	642,000円	360,000円	施設設備整備費、実験実習費
	2年次	-	642,000円	360,000円	施設設備整備費、実験実習費
	3年次	-	642,000円	400,000円	施設設備整備費、実験実習費
	4年次	-	642,000円	450,000円	施設設備整備費、実験実習費
一級自動車 工学科	1年次	240,000円	642,000円	360,000円	施設設備整備費、実験実習費
	2年次	-	642,000円	360,000円	施設設備整備費、実験実習費
	3年次	-	642,000円	450,000円	施設設備整備費、実験実習費
	4年次	-	642,000円	450,000円	施設設備整備費、実験実習費
カーボディマスター科	3年次	240,000円	642,000円	400,000円	施設設備整備費、実験実習費
マスターメカニック科	3年次	240,000円	642,000円	450,000円	施設設備整備費、実験実習費
修学支援 (任意記載事項)					
特待生奨学金制度 25万円 若干名、遠隔地奨学金 25万円 若干名、女子奨学金制度 5万円 全員、留学生特別奨学金制度 25万円 日本語能力検定 N2 取得者					

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2020/06/jikotenkenhyouka.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
実践的かつ専門的な職業教育を実施するにあたり、学校関係者による学校評価を実施し、学校運営の継続的改善を図ることを目的に、業界団体の代表、自治体の代表、卒業生、業界企業代表、等からなる「学校関係者評価委員会」を設ける。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
名古屋市港区役所 区政部長	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日	自治体代表
東海日産自動車株式会社 管理本部執行役員	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日	企業代表
合資会社田口ゼーゼル自動車修理工場 愛知県整備振興会連合会 相談役	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日	団体代表
愛知日産自動車株式会社	令和2年4月1日～ 令和4年3月31日	卒業生代表
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://wp.nissan-gakuen.ac.jp/aichi/wp-content/uploads/2020/06/gakkoukankeisyahyoukaiinkai.pdf		

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

<https://www.nissan-gakuen.ac.jp/school/aichi/>